

葵気揚揚

第6号

大切にしていますか人とのつながり

2学期が始まりました。皆さんにとって充実した夏が過ごせたでしょうか。学校生活では、毎日のように友達との会話があり、勉強や部活動、学校行事を通して人とのつながりを意識できます。しかし、この長い夏休みは、主体的に行動しなければ、家族以外の人に会うこともなく、ただただ時間だけが過ぎてしまいます。皆さんの中には、2学期が待ち遠しい人もいたのではないのでしょうか。

私はコロナ禍になり、一つ気付いたことがあります。それは、人が生きていくうえで大切なのは、学歴でも肩書でも、お金でもなく、大切なのは、「人と人との繋がりのできたネットワーク」ではないかと思うのです。テレワークやリモート授業など、人と接触しなくてもこと足りてしまう世の中へと変わりました。マスク着用も相手の表情が見えにくく、近くにいっても遠い存在だったような気がします。

このように、人と人との触れ合いが少ない中で、無意識に孤立感が根付き、何かつまづいたり、失敗したりすると、すぐに「もうだめだ」と人に頼ろうとしない人が多くなったと感じます。

特に、自分の考えや見方と違う人との出会いによって、視野や価値を日に日に広く大きくさせていくことが重要となる中学生や高校生の時に、人との距離感が掴めず、コミュニケーションの取り方が分からなくなっている若者が増えていると言われます。皆さんの中には、悩み事があっても人には相談できず、一人で葛藤してしまうなど、心のベクトルがすべて自分の内側に向いてしまう人がいるのではないのでしょうか。厳しい社会状況の今、いろいろとうまくいかずに悩みを抱える人は多いでしょう。そのような中で一番大切なのは、思い悩むより、「助けてください」「教えてください」「聞いてください」と周囲の大人や仲間を頼ることです。苦しい時こそ、自分の弱さをさらけ出してみてください。本当の自分を見せなければ、あなたを受け入れてくれる人は出てこないでしょう。心が通い合う信頼関係とは、共感や受容の繰り返しによる人と人とのつながりだと思ふのです。

令和5年夏の甲子園、次のような選手宣誓で大会が始まりました。「……これまでケガで思うように野球ができず、グラウンドにさえ立てない時期もありました。また、チームをどうまとめていくかと悩むこともありました。これらの苦しい時期を乗り越えることができたのは、ほかでもない、ここに甲子園があったからです。そして、指導者の方々、チームの仲間、家族との強い絆があったからだ**と確信しています**。だからこそ、結束力のある野球で恩返ししたい。……」

目標を達成させるには、多くの困難が待ち受けています。でも、決して一人の力で乗り越えようとすることなく、あなたの周りの力を頼ってください。そして、その力があなたにとって「勇気」や「挑戦」という意欲を与えてくれるためにも、日頃からコミュニケーションを図り、「信頼」という絆を深めてください。そして、新田生の結束力で充実した高校生活を送ることが皆さんにとっての恩返しになることを期待しています。頑張れ新田生！

令和5年9月

